

オウム対策住民協議会ニュース

鳥山地域
オウム真理教対策
住民協議会

新年を迎えて

新年を迎え謹んでご挨拶申し上げます。

特別手配犯3名の逮捕

特別手配犯オウム真理教元信者、平田信、菊池直子、高橋克也の3名が、17年間の逃亡の末に、一昨年暮れから短期間で連続して逮捕されたことは驚きでした。定職に就き社会に溶け込み、夫婦同然の生活をしていたことにも衝撃をうけました。麻原への帰依を捨てた者、オウム真理教の経典を肌身離さず持ち続けた者と、生き様は違う。記憶を辿り、信仰時に体験したすべてを裁判で語ることは、被害者・遺族へのせめてもの罪滅ぼしです。またNHKが5月に放映した「未解決事件(オウム真理教)」への反響は大きなものがありました。オウム真理教の過激な修行や凶悪なテロ行為は、事件を知らない若者には刺激が強かったようです。カルトの恐ろしさは伝わったようです。そのことは長年活動してきた住民協議会にとっては、若年層への働きかけなども含め、貴重な教訓と

鳥山地域オウム真理教対策住民協議会
会長 甲斐円治郎

なりました。

全国から注目される活動

一昨年アレフ信者約40名が足立区入谷に転出し、現在はひかりの輪10数名に減少したことで、協議会活動の縮小も取り沙汰されました。さらに12年間の活動継続は、住民協議会活動にも新たな困難が見えてきたようです。最も顕著に表れたのは監視活動で、協議会会員の高齢ゆえの夏の暑さや冬の寒さへの対処、監視活動に関わる会員の固定化などです。しかし様々な障害があっても、オウム真理教が最も嫌がる監視活動は、これからも工夫をしながら継続しなければなりません。オウム真理教と向き合う全国の住



新調した鳥山区民センターの垂れ幕

民協議会からは、鳥山地域の活動は参考になるとの声もあります。困難もありますが、正義は我々にあることを揺るぎない確信にしなければなりません。
地域住民や若者の力が必要

ひかりの輪の勧誘も年々巧妙となり、若者の社会経験の未熟さにつけ込み、各地の大学で信者の拡大が行われています。さらに松本サリン事件の被害者河野義行氏を代表とした「外部監査委員会」の設立、ウェブサイトを駆使しての信者勧誘など、ひかりの輪の活動は多様です。オウム真理教の活動を規制する「団体規制法」は、来年12月で5年間の期限となり、存続への活動も控えています。今年はその準備期間でもあり、従来からの監視活動・募金活動・ニュース発行・リサイクルバザーの活動などをより活発にするため、より多くの地域住民のご協力を得ることが大切です。同時に、若年層への活動参加の呼びかけも急務です。住民協議会は活動13年目に向け決意を新たにしております。本年も昨年に増してのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

第7回

リサイクル

新品
いっぱい

バザー

4月13日(土) 10時

鳥山区民センター前広場(雨天決行)

12年間活動を続けてきた
住民協議会にご協力
お願いします。

“今年もリサイクルバザーを行います”

今年で7回目となりました、住民協議会主催のリサイクルバザーです。住民協議会活動の活動資金を得るためのバザーです。皆さまのご協力をお待ちしております。

物品提供お願いします

次号、3月11日発行 住民協議会ニュースにて物品受付の場所・時間を詳しくお知らせいたします。

～受付商品～

日用雑貨・アクセサリ・乾物類・おもちゃ・陶器類・ハンドバック・シーツ・タオル・婦人服・紳士服・子ども服・靴類など

※衣類は新品あるいはクリーニング済みの物をお願いいたします。物品によっては、お受けできない場合もございます。

愛知県豊明市桜ヶ丘区の「ひかりの輪」への対応

昨年6月、オウム真理教対策関係市町村連絡会の席上、初めて参加した愛知県豊明市桜ヶ丘区、区長森下博氏に出会い、桜ヶ丘区にも上祐率いる「ひかりの輪信者」が居住する施設があり、その後の交流から当地の様子を聞くことが出来た。

桜ヶ丘区として、対策協議会長をはじめ、桜ヶ丘パトロール隊（隊員数約50名）の皆様により道場周辺のパトロールを強化しています。このところ、上祐の説法日には従来より参加者が増加している傾向がみられ、桜ヶ丘区としても危惧している状況となっています。

当地区も高速道路が整備され、インターチェンジの開設以来、東京方面からの交通が非常に便利な環境となりました。横浜あたりから3時間もすれば、交通量が少ない時には豊明道場までこられることもあり、逆に出入りは増えたような気がしています。先日は中部

公安部からの地元住民に対するヒアリング等も行われ、更なる継続監視、更改に向けた対応を進めるべく、動いていただけたと思います。又、周辺住民の高齢化により、空き家が出てきたりして、「ひかりの輪」が買取ったりするのではと、心配しています。

当区としても、今後の監視の継続をすすめるべく体制の維持を行っています。



ひかりの輪 愛知県豊明市桜ヶ丘区施設

世田谷区主催オウム真理教問題講演会 ～オウム真理教問題を風化させない～

講師は、昨年5月NHKで放映された「未解決事件（オウム真理教）」制作担当、NHK報道局社会部デスクの松岡烈氏である。

700本の取材テープと67回に及ぶ関係者への取材を経て作られたと云う番組は、放映後大きな反響を呼び話題になり、オウム真理教の事件を知らない若者世代の反応もあった。松岡氏によると、この番組を作るきっかけとなったのは、オウム真理教の行った坂本弁護士一家殺害事件、松本サリン事件、地下鉄サリン事件、目黒公証役場飯谷清志事務長殺害事件などの凶悪なテロ行為から17年経ち、裁判が終わったにもかかわらず、未だ真実が明らかにされていない事。アレフ・ひかりの輪がオウム真理教の後継団体として、今でも麻原の教義を受けついでいるとしか思えない活

動の様子。これらを検証すべく、平成23年秋より取材を開始したとの事。

講演のはじめに、番組の最初の部分が流された。ドラマ化されたオウム真理教の元信者による証言や、ドキュメントとしての教団の活動、事件現場などが写しだされた。膨大な取材と努力により製作された番組は、説得力があり、私たちの知らないオウム真理教の過去を見せつけられ、参加者から驚きの声が上がっていた。

番組放映後に特別手配の元信者、平田信・菊池直子・高橋克也の3名が逮捕され、いよいよ裁判により真実が明らかにされる事を期待したい。製作された番組が、オウム真理教事件を風化させないための、貴重な財産となるのではないだろうか。

住民協議会活動報告

12月14日(金) 区主催オウム真理教問題講演会参加
12月19日(水) 実行委員会
1月11日(金) 事務局会議
1月16日(水) 烏山・給田地区合同新年会で募金活動
1月22日(火) 実行委員会

1月28日(月) 協議会ニュース122号初校正
2月3日(日) 中学生のつどいで募金活動
2月4日(月) 協議会ニュース122号再校正
2月8日(金) 事務局会議
2月11日(月) からすやま新年子どもまつりで募金活動
2月11日(月) 協議会ニュース122号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。